

相原中学校だより

第9号
H31. 1. 8

言葉を鍛える

校長 江戸谷 智章

平成31年が幕を開けました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

それぞれが思いを新たにして、第一歩を踏み出していることと思います。皆さんにとって、本年が幸せな一年になることをお祈りします。

さて先日、動物がどのようにして互いにコミュニケーションを取り合っているのかを話題にしたテレビ番組を視聴したので、さわりを少し紹介したいと思います。

たいていの動物は、鳴き声や牙をむくなど顔の表情を変えたり、シッポや翼などの体の一部を使ったりして自分の感情や考えを周囲に伝えていることをご存知のとおりです。中には特殊な方法で意思を伝達する動物もいるようで、ゾウは、人間にも判別ができないくらいの重低音を発して、10キロ先の仲間に危険が迫っていることを知らせることができたり、またシロサイにいたっては、自分が排泄するうんちの臭いで群れの中で何が起きているのかを伝え合ったりしているといわれますから、動物の世界もなかなか深いなと興味をそそられました。



一方、私たち人間はというと、動物のように表情や語気を荒げたりして喜怒哀楽を表現しながらも、言葉という道具を使って、その理由や原因、目的などを伝えながらコミュニケーションを成立させます。言葉がいつの時代から使われるようになったのかは今のところ不明なのだそうですが、驚くことに世界にはおよそ5000種にも及ぶ言語があるそうで、インドだけでも845種もあるのだそうです。けれど、これらのぼう大な数の言語も元をたどるとわずか数種類の型に分類されるといいますから、言語の世界も知らないことだらけです。

いずれにせよ、言葉を持っているということが人間としての証だとすると、言い方を変えれば、この言葉を鍛えていくことが、人間らしく生きるということにもつながっていくように思うのです。しかしながらこの言葉というのは、思っていることの全てを誤解なく相手に伝えるには、決して十分ではないという事も私たちは知っています。自分はある思いをもって熱心に伝えたとしても、相手が自分の意図することを誤解なく受け取ってくれているかは正直なところ疑問です。ましてや日本人には特有の「本音」と「建前」があって、言葉通りに受け取ってしまったことで、後に大きな失敗を招いてしまったということも少なくありません。

そうは言っても、自分の気持ちを正確に相手に伝えるためには、この言葉を使わないわけにはいきません。たとえそれが親であろうと親友であろうと、「これくらい言わなくてもわかってくれているはずだ」、「あの時言ったはずなのに・・・」と思ったところに大きな間違いが潜んでいるように思うのです。

人にはそれぞれに、これまで生きてきた歴史があります。何に興味をそそられるのか、何を価値あるものと判断するのかは身近な親子であっても違って当然です。ましてや国同士ともなれば事はなおさら重大です。しっかりと自分の思いを伝えたいのであれば、受け身的な気持ちではなし得ないように思います。ましてや相手の事を思って遣う言葉には、十分な配慮も必要となることでしょう。「意思疎通」が、互いに理解し合い認識を共有することであるならば、「言葉を鍛える」ことは、私たち人間にとって永遠の課題なのかも知れません。



感謝

心身の健康育成部 竹中 太一

2018・19の年末年始も、スポーツの熱い戦いが多く繰り広げられました。

その中でも、「バスケットボールの全国高校選手権、通称：ウインターカップ」と95回の歴史を持つ、「箱根駅伝」を心躍らせながら観戦していました。ウインターカップでは、大本命「福岡第一高校」が圧倒的な強さを発揮して優勝。箱根駅伝では、優勝候補とまでは言われていなかった「東海大学」が創部から約60年間を経て悲願の初優勝。両者の勝利の仕方は対照的と言ってもいいほどでした。

しかし、そんな対照的な優勝の中、選手たちの喜びのコメントには多くの共通点がありました。



＜東海大学の選手＞

- ・「5区の後輩のために、1秒でも詰めてつなぎたいと思っていた」
- ・「自分が流れを作れば、後ろの4人を楽にしてあげることができる」
- ・「支えてくださった監督、コーチに感謝の気持ちを伝えたい」
- ・「9、10区で楽に走ってもらいたいという気持ちがあったので、前に出ました」



＜福岡第一高校の選手＞

- ・「仲間・先輩がパスをつないでくれたから、自分のプレーがある」
- ・「ベンチで応援してくれる選手、観客席で応援してくれる保護者・関係者の方々がいなかったら、自分はこのコートに立てていない」
- ・「これまで対戦したチームの思いも決勝戦にはあるので、その人たちに恥じない試合にしようと思った」



たすきをつなぐ駅伝、集団スポーツであるバスケットボールという競技性も当然あるでしょうが、すべてのコメントに共通して言えることは、周囲の人たちへの「思い」や「感謝」であるということです。それは、コーチや仲間だけでなく、対戦相手にまで向けられていました。

自分よりもいくつも年下の若者たちの言葉を聴きながら、自分自身を振り返り、相原中学校の生徒の皆さんにもこうあってほしいと思う、平成最後の年末年始でした。

1月の主な日程

平成31年1月

- 1日 (火) 平成31年元日
- 8日 (火) 3学期始業式 諸活動なし
- 9日 (水) 日課変更 (木曜日授業)
最終下校17:00
- 10日 (木) 日課変更 (水曜日授業)
生徒会専門委員会
- 11日 (金) 日課変更 (月曜日授業)
- 12日 (土) PTA 運営委員会
- 14日 (月) 成人の日



- 15日 (火) 諸活動なし
- 16日 (水) 学級プログラム委員会 (2,3年)
1年生若あゆ前日OT
- 17日 (木) 1年生若あゆ～18日
- 21日 (月) 諸活動なし
- 23日 (水) 生徒会代表議会
- 25日 (金) 新入生保護者説明会 15:00～
公立共通選抜出願OT
- 29日 (火) 公立共通選抜出願日
- 30日 (水) 生徒会専門委員会 (3年最終)

